

## エシカル・ラーニングラボ

部会長：附属高等学校 葭内 ありさ  
部会員：附属幼稚園 佐藤寛子・谷地理沙  
附属小学校 足立愛美・築地晶子  
附属中学校 有友愛子  
附属高等学校 葭内ありさ

### 2023 年度活動報告：

#### 幼稚園

●園内の実りを収穫する、調理して味わうなどの丁寧な暮らしを続ける中で、今年は子ども達の思いから繰り返しご飯を炊きました。中学生が作った梅干しやゆかりをお裾分けしてもらい、お米を炊いて味わったり、小学生からおにぎりアクションの知らせを受けて、炊いたご飯でおにぎりを作ったりしました。また、2学期には、遊びに使う毛糸を中学生に染めてもらいました。学内の人たちと互いに行き来しながらやりとりを重ねる中で、様々な人が暮らしていることを感じ、新しいことを知ったり、願いを叶えてもらう嬉しさを味わったりする時間となりました。

●昨年度から参加しているフードドライブ活動は、保護者と大学生とともに集計をするという新たな試みを加えたことで、やりとりの中から互いに新たな視点を得る機会となりました。



#### 小学校

●6月に高校2年生と小学校5,6年生、1~2月に高校1年生と小学校5年生が交流授業を行いました。児童労働をテーマに附属高校の生徒と直接対話をする中で、身近な商品であるチョコレートの生産の背景を知り、エシカル消費（環境や人権などの社会に配慮した消費スタイル）など、自分たちにできる行動について考えました。



●家庭科で米の炊飯について学習したことから関連し、5年生が中心となって「おにぎりアクション」に参加しました。一人一人がおにぎりを作りながら、世界の様々な社会情勢や、そこに暮らす人々のことを考えました。この活動の輪を広げたいと考え、ポスターやお知らせを作って、附属学校園全体に呼びかけました。

●フードドライブの活動を通して、大学生（SDGs推進研究所）と一緒に学んだり、6年生が昨年度経験したことを高校生に伝えたりする交流授業を行いました。

#### 小学校給食

●5年生家庭科の学習と関連させて、フェアトレードチョコレートを給食に使用しました（2月）。子どもたちには、給食のおたより（パクパク通信）で、私たちが適正な価格でチョコレートを買うことが、カカオ豆を育てている人たちを支えることにつながっていくことを伝えました。



●高校の家庭科の学習と連携し、高校1年生が考えた献立を給食に取り入れました（2月に2回）。高校生の提案のもと、エシカルな視点を取り入れ、野菜（にんじん、れんこん、大根）は皮付きで調理しました。考案した生徒も、小学校で一緒に給食を食べました。



#### 中学校

●中学校3年生が南三陸ミシン工房（東日本大震災で被災した女性の自立を支援する団体）から教材を提供していただき、「がんばっぺしポーチ」を作りました。南三陸ミシン工房は2023年3月末日で解散し、本校の教材提供が最後の出荷となりました。修学旅行で宮城県を訪れた際、完成させたポーチを里帰りさせることができました。

●幼稚園の年長さんからのリクエストで梅干しを届けに行きました。届けた梅干しでおにぎりを作ってくれ、お礼にと幼稚園のみんなが収穫したじゃがいもを届けてもらいました。また、梅干しづくりの副産物のゆかりも届けに行きました。[幼稚園とのおすそ分け交流](#)を通して、相手のことを想って行動することから多くの学びを得ることができました。

●中学校 3 年生が幼稚園の子どもたちにお手紙で希望を聞いて白い毛糸を食用色素で染めて色とりどりの毛糸を届けました。今年度は“虹色”のリクエストがあり、願いを叶えるためにみんなで工夫を凝らしました。幼稚園のみんなが[お手紙のお返事を届けに来てくれた時](#)には、恒例の花いちもんめを楽しみました。

●中学校 2 年生が岩手県釜石市の工場で生産されている[国産さばの缶詰\(サヴァ缶\)](#)を使ったレシピを考えて夏休みに家庭での調理に取り組みました。6月の修学旅行では釜石を訪れます。3月8日のサヴァ缶の日の昼食時にみんなでサヴァ缶を食べました。

●中学校 1 年生が、小学校からお知らせを受けておにぎりアクションに参加しました。SDGs 推進研究所と附属学校園で取り組んでいるフードドライブの取り組みの意義について改めて考えるきっかけになりました。

●中学校 1 年生が、[小原木 My タコちゃんプロジェクト](#)(梅村マルティナ FS 気仙沼アトリエ)に取り組みました。今年で5年目の取り組みです。中学校3年生の生徒が1年生の時に作ったタコちゃんを修学旅行で気仙沼を訪れた時に里帰りさせてくれました。

●中学校 1 年生が、附属高等学校の生徒からエシカル消費をテーマに交流授業を行いました。高校生とのディスカッションの後自分自身の暮らしを振り返って、いろいろな人と共有したい実際に行っている、またはこれから行ってみたいエシカルアクションを「エシカルアクションカード」に整理して共有しました。

## 高校

●大学 SDGs 推進研究所と連携した全学フードドライブの活動を通して、大学生 (SDGs 推進研究所) 作成の寄付先についてのビデオレターを視聴し、小学校6年生が昨年度経験したことを高校1年生に伝える交流授業によって学びが深まりました。

●高校 2 年生が、中学 1 年生を訪問し、エシカルを伝え、エシカル会議を行う交流授業を行いました。

●高校 1 年生が、小学 5 年生に「児童労働とチョコレート」についての訪問授業を行う交流授業を行い、SDGs 推進研究所の大学の先生方に参観いただきました。

●エシカルブランド「CLOUDY」との商品開発の連携授業を行いました。

高校1年生全員の作品から、今年はバックの案が商品化候補として選ばれました。今後、アフリカ・ガーナで商品化の検討を行ってきます。

高校3年生と昨年卒業した学年が、高校1年次に考案した、3WAY ミトンと蝶ネクタイ&チーフのセットが、アフリカ・ガーナの工場で量産され、2024年3月8日の国際女性デーより、渋谷 MIYASHITAPARK 2F の CLOUDY 店舗で販売開始しました。売り上げの10%

はガーナの教育支援になります。

詳しくは高校ウェブサイト

<https://www.fz.ocha.ac.jp/fk/news/info/2023/d014367.html> をご覧ください。



●SSH 1期 5年目として、家庭科必修「生活の科学」や「家庭総合」でエンカルな STEAM 教育を行いました。詳しくは高校ウェブサイト掲載の報告書をご覧ください。